

2019年4月号

保内町喜木

西山 幸枝（ゆきえ）さんの巻

長女 佳歩（かほ）ちゃん（4歳）

「ママ、ムギューしよ♪」

娘がこうやって甘えてくると、私はめいっぱい抱きしめて、「大好きだよ。」と伝えます。

なにかうれしい事があった時、ちょっぴり心細くなった時、もしかしたらただ抱きしめてほしいだけの時も、娘は小さな頃からいつもこうやって心の充電をしにやってきます。そして、しばらく私の腕の中で目を閉じてじーとした後は、満足そうに笑って、また元気に遊び始めるのです。

娘が生まれたのは、今から四年前。夜中に陣痛が始まり、二十四時間以上かかった出産でした。こんなに長引いたのに、元気な心拍音を聞かせてくれて、とても心強かったのを覚えています。パパ、ママ、赤ちゃん、みんなで力を合わせての出産でした。

それから、育児に奮闘する毎日が始まりました。なぜかミルクを嫌がり、完全母乳で一日十回以上の授乳もしばしば。おまけに生後三ヶ月から激しい人見知りが始まり、外で出会った方に「かわいいね。」と声をかけられただけで大泣きしたりして、これにはなかなか苦労しました。それでも、私たちが日々成長を喜び、育児を楽しむことができたのは、祖父母や、同じ子育てをしている仲間、地域の方々が周りで温かく支えてくださっていたおかげだと、とても感謝しています。

今では、親子の日課になった『ムギュー』。私の腕の中にすっぽりと収まっていた娘の体も、四歳を過ぎた今では抱きかかえるようになり、ずいぶん大きくなったなあ感慨深く思います。昨春から幼稚園にも通い始め、大好きな先生やお友だちと遊んで、毎日楽しそうです。この先、娘がもっと成長したら、今よりずっと世界が広がり、『ムギュー』が必要でなくなる日がきっと来るでしょう。安心して自分の力で未来に向かって歩いていけるようになる、その日まで。そして、それからもずっと。パパとママは、いつもあなたのことを応援しているよ。